

寄贈品コーナー 新着資料展—民俗・地質・天文分野—

2009年5月2日（土）～5月31日（日）

博物館では毎年、寄贈・採集などで新しい資料が収蔵されています。そして、年度初めに前年度に収蔵された新資料を新着資料展として展示しています。新着資料展の第2弾は、昨年度の収集資料から民俗・地質・天文分野を紹介します。

民俗資料では、高浜台の岩崎家から寄贈された組紐（くみひも）製作用具一式があります。戦前は須賀に製紐工場があり、たくさんの組子さんが働いていました。工場は空襲で焼失しますが、そこで働いていた職人さんなどが戦後に独立し、5軒の製紐加工所が開業されます。主な製品は着物の帯締めと羽織紐で、正絹の高級品でした。その他、金目川で使用されたモリや箱メガネなどの漁具、根坂間の叶谷湧水池に祀られる左口神社の明治20年幟などを展示します。

地質分野では、今年、2月2日の未明に噴火し、平塚まで飛来した浅間山火山灰と、茅ヶ崎沖にある烏帽子岩の岩石資料を展示します。



▲ 製紐のようす